

会計名		一般旅券発給等事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民課		
款	項					目	担当係	管理係	
2	3	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	行政経営						
		施策の内容	効率的な行政運営						
	目的	一般旅券の申請受付及び交付業務を市役所で行うことで、市民の利便性向上を図る。		主たる内容	○一般旅券の申請受付業務の実施 ○一般旅券の交付業務の実施 ・開始日 平成26年4月1日 ・業務内容 新規・切替、記載事項変更、増補の申請受付及び交付 ・紛失、焼失届出受付 ・窓口開設時間 9時から17時まで (金曜日は交付のみ18時まで)				
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令	愛知県事務処理特例条例						
	対象者	市民		事業期間	平成25年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
						窓口開設準備 ・備品購入 写真カッター、交付機端末、VOID(打抜き)機等 ・改修工事 防犯カメラ設置、窓口サイン表示、発券機設置等 (参考) 愛知県の窓口で申請した市民の人数 4,948人		窓口業務委託料 7,538,400円 市の窓口で申請する市民の人数 $5,000人 \times 90\% = 4,500人$	
成果(できたこと)		身近な市役所で申請受付及び交付業務を行うことにより市外へ出向く必要がなくなり、市民の利便性向上を図ることができた。							
課題(できなかったこと)		平成26年4月1日から業務を開始したが、受付時間や受取りまでの日数などの基本的な内容についての市民への周知がまだまだ不足しているため、旅行シーズン前など、機会を捉えた広報活動を継続して行う必要がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果指標		市役所で申請する市民の割合(%)			—	—	—	90.0	92.0
指標									
他市との比較検証		県内の窓口業務状況 54市町村のうち11市町村実施 委託 4市(春日井、安城、西尾、刈谷) 嘱託 4市(豊川、田原、小牧、蒲郡) 直営 3町村(設楽町、東栄町、豊根村)							
C 事業コスト		単位:千円	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳		
	事業費①	0	0	5,720	8,568	合計	5,719,956円		
	財源	特定財源	0	0	582	5,343	旅費	96,480円	
		一般財源	0	0	5,138	3,225	需用費	282,231円	
	職員人件費②	0	0	7,743	8,061	委託料	519,750円		
	総事業費(①+②)	0	0	13,463	16,629	工事請負費	2,992,500円		
建設事業	全体事業費(単位:千円)	0		25年度特定財源名称					
	25年度迄の累積事業費	0		市町村振興事業費補助金(県)					
	27年度以降の事業費見込	0		市町村権限委譲特別交付金(県)					

会計名			一般旅券発給等事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	市民課
款	項	目		担当係	管理係
2	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市外へ出向わずに身近な場所で旅券の申請及び受取りができ、市民のニーズに応えることができるため必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	窓口業務を委託することで、直営に比べ人件費の削減及び知識と経験のある人材の配置を図ることができ、効率的かつ正確な事務を行うことができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	人口が10万人以上の市への権限移譲を愛知県が推進しており、毎年5,000人程度の市民の利用が見込まれるため、市役所で業務を行うことは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	期待される先進的な市役所作りの重要施策として位置づけられており、安城市、西尾市と同時に西三河で初めての事業であることから市民へのPR効果もあり、施策への貢献度は高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
継続的に一定数の市民の利用が見込まれるため、引き続き適切に事業を実施していく必要がある。					

会計名		一般旅券収入印紙購入基金積立事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民課		
款	項					目	担当係	管理係	
2	3					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	行政経営						
		施策の内容	効率的な行政運営						
	目的	一般旅券発給業務に必要な収入印紙等を適切に確保するために基金を設置し、業務の円滑な実施を図る。			主たる内容	○基金設置のための積立て			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成25年度 ~ 平成25年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		_____		_____		積立金 10,000,000円		_____	
成果 (できたこと)		平成26年4月1日に開始した一般旅券発給業務に必要な収入印紙の販売を行うための基金を設置し積立を行った。これを基に収入印紙を購入し、旅券窓口開始の準備を行うことができた。							
課題 (できなかったこと)		刈谷市では例のない毎日運用される基金であるため、収入印紙を含めた管理方法の確立と適正な運用を行っていくことが課題である。							
指標名称 (単位)				実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
活動 指標		基金の積立金額 (千円)			—	—	10,000	—	—
指標									
他市との 比較検証		小牧市 収入印紙等購入基金 10,000,000円 安城市 一般旅券発給事務収入印紙購入基金 10,000,000円							
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	10,000	0	合計	10,000,000 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	積立金	10,000,000 円	
		一般財源	0	0	10,000	0			
	職員人件費 ②		0	0	701	0			
	総事業費 (①+②)		0	0	10,701	0			
	建設 事業	全体事業費 (単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			一般旅券収入印紙購入基金積立事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	市民課
款	項	目		担当係	管理係
2	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	旅券申請時に必要な印紙の販売は市民サービスのため必要であり、旅券発給業務開始に合わせて売りさばき所を開設するための基金の設置の必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	一定額の原資金を基に印紙の購入と売りさばきが可能であり、一旦積立てれば、毎年の予算化の必要がないため、効率性が高い。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	印紙と現金の合計は必ず積立額と一致するため、透明性が高い。また、25年度中に印紙の購入が可能となり26年度当初からの事務に備えることができた。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	旅券発給業務を円滑に行ううえで必要な事業である。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成25年度に予定どおり基金へ積立を完了した。 今後、印紙の需要が増し、さらなる積立が必要になった場合、再び本事業を実施する必要がある。					

会計名		臨時職員雇用事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民課		
款	項					目	担当係	市民係	
2	3					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	行政経営						
		施策の内容	効率的な行政運営						
	目的	臨時職員を雇用することで、市民課での各種届出事務・証明発行及び各出張所での受付事務の円滑化を図る。		主たる内容	市民課業務を円滑に行うため、臨時職員を雇用する。 市民課 11人 内訳 窓口及び郵送等 7人 フロア案内 2人 繁忙期 2人 北部出張所 2人 小垣江出張所 2人 東刈谷出張所 3人				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		市民課 9人 (内繁忙期1～3月 1人) 出張所 7人		市民課 13人 (内繁忙期4～7月 2人 4月,1～3月 2人) 出張所 7人		市民課 11人 (内繁忙期4月,1～3月 2人) 出張所 7人		市民課 11人 (内繁忙期4月,1～3月 2人) 出張所 7人	
成果 (できたこと)		業務の集中する繁忙期(4月、1～3月)に各2名を雇用したことにより、窓口業務を始め市民課各種業務を円滑に行うことができた。							
課題 (できなかったこと)		臨時職員の多くは経験年数が長く、市民課業務を行う上でなくてはならない存在であるが、経験年数による賃金加算がないため、経験豊富な臨時職員の確保とともに新しい人材(短期雇用)の確保が課題である。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標		通常期勤務する市民課窓口の臨時職員の確保(人)		8	9	9	9	9	
活動指標		繁忙期勤務する市民課窓口の臨時職員の確保(人)		1	4	2	2	3	
他市との比較検証		職員配置等が異なるため、他市との比較はできない。							
C 事業コスト		単位:千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		11,690	13,943	13,059	13,467	合計	13,059,081 円	
	財源	特定財源	11,690	13,943	13,059	10,101	賃金	13,059,081 円	
		一般財源	0	0	0	3,366			
	職員人件費 ②		1,436	1,415	1,403	1,466			
	総事業費(①+②)		13,126	15,358	14,462	14,933			
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		戸籍関係手数料 住民票関係手数料 印鑑証明手数料					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			設備管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民課	
款	項	目					担当係	戸籍係	
2	3	1							
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	行政経営						
		施策の内容	効率的な行政運営						
	目的	住基ネットワークシステム、戸籍システムなど業務に必要な機器の賃借及び保守管理委託を行い、市民課業務の適正化を図る。			主たる内容	各種システム・機器の保守管理及び賃借等を行う。 住基ネットワークシステム 戸籍システム 通信機器の借上料 戸籍システム回線料等 ファックス通話料等			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		保守管理委託料等 住基ネットワークシステム 外国人登録システム 戸籍システム等 10,432,430円 システム借上料等 住基ネットワークシステム 外国人登録システム等 6,885,142円		保守管理委託料等 住基ネットワークシステム 外国人登録システム 戸籍システム等 8,368,992円 システム借上料等 住基ネットワークシステム 外国人登録システム等 6,000,607円		保守管理委託料等 住基ネットワークシステム 戸籍システム等 13,233,614円 (機器更改含む) システム借上料等 住基ネットワークシステム 等 2,338,666円 (再リースあり)		保守管理委託料等 住基ネットワークシステム 戸籍システム等 7,280,000円(予算額) システム借上料等 住基ネットワークシステム 等 4,947,000円(予算額)	
成果 (できたこと)		住基ネットワークシステム、戸籍システム等の業務に必要な機器の賃借及び保守管理委託をすることで市民課業務を適正に管理することができた。特に住基ネットワークシステムの機器賃貸借契約は、稼働時期が異なる2本の長期継続契約になっていたが、機器更改に伴い1本の契約とし、事務の簡素化を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)		システム機器の操作を行う担当者が機器の操作設定等を正確に行うことで、通常の業務が可能となる。システムダウンにつながるトラブルを未然に防ぐシステムの監視と正確な操作を徹底する。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果指標		トラブルによるシステムダウン(件)		0	0	0	0	0	
指標									
他市との比較検証		システムの構成等によって違うため他市との比較はできない。							
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費①		17,767	14,571	15,774	12,441	合計	15,773,713円	
	財源	特定財源	17,767	14,571	14,700	12,441	役務費	201,433円	
		一般財源	0	0	1,074	0	委託料	13,233,614円	
	職員人件費②		5,025	4,952	5,260	4,030	使用料及び賃借料	2,338,666円	
	総事業費(①+②)		22,792	19,523	21,034	16,471			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		戸籍関係手数料 住民票関係手数料					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			霊きゅう車運転管理業務委託事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民課		
款	項	目					担当係	管理係		
4	1	6								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進							
		基本施策	行政経営							
		施策の内容	効率的な行政運営							
	目的	霊きゅう車の運転業務を委託し、経費を削減し、霊きゅう車の適切な提供を図る。	主たる内容	霊きゅう車の運転業務を委託するとともに、車両の管理を行う。 霊きゅう車(バン) 1台保有 使用料 市内 3,000円 市外 6,000円						
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成19年度 ~					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		運行実績	345件	運行実績	321件	運行実績	282件	運行見込み	302件	
運行可能件数		504件	運行可能件数	501件	運行可能件数	504件	運行可能件数	504件		
委託料		2,415,000円	委託料	2,406,600円	委託料	2,406,600円	委託料	2,476,000円(予算額)		
成果(できたこと)		霊きゅう車の運行業務を業者委託することで、経費の削減を図ることができた。 また、定期的に車両点検等の安全確認をし、運行業務を確実に行うことができた。								
課題(できなかったこと)		平成12年8月に霊きゅう車を購入してから14年が経過する。定期的に車両点検等の安全確認に努め、安全な運行に細心の注意を払っているが、車両の状況を見ながら今後の更新と運用方法について検討する必要がある。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度			
成果指標		霊きゅう車利用率(%)		68	64	56	60	62		
指標										
他市との比較検証	直営…安城(バン1台、使用料3,150円、平成26年度新規購入)、新城(バス・バン各1台、使用料5,140円) 全面委託…高浜・碧南(衣浦衛生組合で1台、使用料管内3240円、管外9,720円) 運転業務委託…知立(ボクシー1台、使用料2,300円)、蒲郡(バス1台、使用料2,500円) 廃止…幸田、津島									
C 事業コスト	単位：千円		23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳			
	事業費①		2,709	2,751	2,673	2,963	合計	2,672,661円		
	財源	特定財源	1,086	1,047	882	1,030	需用費	95,529円		
		一般財源	1,623	1,704	1,791	1,933	役務費	170,532円		
	職員人件費②		3,230	3,183	2,455	4,030	委託料	2,406,600円		
	総事業費(①+②)		5,939	5,934	5,128	6,993				
建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称					
	25年度迄の累積事業費		0		霊きゅう車使用料					
	27年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民課	
款	項	目					担当係	管理係	
4	1	6							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	市街地・住環境						
		施策の内容	住環境の充実						
	目的	青山斎園の施設を指定管理者に委託することで、経費の削減と青山斎園の適正な管理運営を図る。		主たる内容	指定管理者へ施設利用の受付業務、使用料の徴収業務、火葬業務、施設の維持管理業務を委託し、適正な管理運営を行う。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		指定管理料 72,704,887円		指定管理料 74,991,133円		指定管理料(予算額) 82,426,000円		指定管理料(予算額) 84,634,000円	
成果 (できたこと)		従来、市が行っていた業務を指定管理者に委託することにより経費の軽減を図ることができた上、施設の適正な管理運営ができた。							
課題 (できなかったこと)		平成27年3月の指定管理更新に合わせ小規模修繕の負担区分を明確にする必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果 指標		施設利用に対する満足度(%)		—	—	90.9	91.0	92.0	
指標									
他市との 比較検証		岡崎市 委託 豊田市(みよし市) 委託 碧南市(高浜市) 一部事務組合直営 安城市 直営		知立市 直営 西尾市 委託					
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		72,791	75,925	75,713	84,996	合計	75,713,245 円	
	財 源	特定財源	24,409	26,743	34,631	24,750	旅費	3,320 円	
		一般財源	48,382	49,182	41,082	60,246	役務費 委託料	114,099 円 75,595,826 円	
	職員人件費 ②		1,436	1,415	2,104	2,931			
	総事業費(①+②)		74,227	77,340	77,817	87,927			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		斎園使用料 行政財産目的外使用料					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名		施設整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民課		
款	項					目	担当係	管理係	
4	1					6			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	市街地・住環境						
		施策の内容	住環境の充実						
	目的	必要な箇所の改修等を行うことにより、施設の 利便性向上と青山斎園の適正な管理運営を 図る。		主たる内容	青山斎園施設の利便性向上や市民のニーズに 対応するため、必要な箇所の改修を行う。				
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
ガス管改修工事 墓園通路補修工事		墓園通路補修工事 エレベーター改修工事 霊堂待合棟外壁修繕 霊堂・待合棟雨樋補修箇所調 査委託		火葬場小動物告別場所改修工 事		墓園整備工事 ロータリー植栽工事			
成果 (できたこと)		小動物の告別場所を整備し、昨今のペットに対する市民のニーズに応えることができた。							
課題 (できなかったこと)		施設を維持管理していく上で、新たに整備を必要とするもの、経過年数により取替を必要とするものが発生してくるため、長期的な計画を策定し、整備・改修してライフスタイルの変化に伴う市民のニーズに対応していく必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果 指標		整備不良による事故発生件数(件)		0	0	0	0	0	
指標									
他市との 比較検証		建設年度等が異なるため、他市との比較はできない。							
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費①		3,579	5,282	998	15,500	合計	997,500円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	997,500円	
		一般財源	3,579	5,282	998	15,500			
	職員人件費②		1,077	1,061	1,753	2,931			
	総事業費(①+②)		4,656	6,343	2,751	18,431			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設補修事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民課		
款	項	目					担当係	管理係		
4	1	6								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	市街地・住環境							
		施策の内容	住環境の充実							
	目的	経年劣化等により、損傷した箇所の修繕を行うことで、青山斎園の適正な管理運営を図る。			主たる内容	青山斎園において経年劣化等により修繕が必要な箇所の修繕を行う。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		火葬炉（人体炉・動物炉）設備修繕		火葬台車等耐火物取替修繕 火葬棟空調用ドレン配管修繕（霊安室天井修繕を含む） 集塵機（吸引装置）取替修繕		火葬台車等耐火物取替修繕 せい山閣屋根防水修繕 霊堂棟雨樋修繕 火葬棟オペレーター（排煙装置）修繕		火葬炉設備修繕 火葬棟雨樋修繕 水銀灯支柱塗装等修繕 案内板修繕		
成果（できたこと）		新たに補修が必要なもの、使用頻度や経過年数により取替えや補修が必要となった部分について、修繕等計画に沿って適正に補修等を行うことができた。								
課題（できなかったこと）		使用頻度や経過年数により取替や補修を必要とするものが発生してくるため、修繕等計画に定めのないものについても適切に状況を把握し漏れなく補修を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果指標	整備不良による事故発生件数（件）			1	0	0	0	0		
指標										
他市との比較検証	建設年度等が異なるため、他市との比較はできない。									
C 事業コスト	単位：千円		23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（予算）	25年度事業費内訳			
	事業費 ①		851	3,057	4,982	13,400	合計	4,982,250 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,982,250 円		
		一般財源	851	3,057	4,982	13,400				
	職員人件費 ②		1,077	1,061	1,753	2,931				
	総事業費（①+②）		1,928	4,118	6,735	16,331				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0								
27年度以降の事業費見込		0								